大室山



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。









リニューアル号

~議会広報活動で撮影した写真の中から、新旧の市役所庁舎と議場を掲載~



旧 市役所庁舎(松川側)(市政の概要 昭和56年版掲載)



現 市役所庁舎(市議会だより平成24年11月号掲載)



旧 市役所庁舎(正面側)(市政の概要 昭和54年版掲載)



現 議場(市議会ホームページ掲載)



旧 議場(市議会だより昭和61年2月号掲載)



現 議場 (市議会ホームページ掲載)

○9月定例会の概要 ·····【P.2】

○一般質問(9議員が登壇)………【P.8】

○決算大綱質疑 (6議員が質疑) ·····【P.5】

○常任委員会だより【 P.11】

平成28年9月定例会

平成27年度 ・特別会計・企業会計決算を認定

9月定例会を8月31日から9月27日までの28日間の会期で開会しました。

予算編成から決算までの背景

平成7年度

市長決算概要説明

ととした。その結果、 島地区ごみ収集委託事業等 基づき予算を編成した。 来協知』の更なる実践」 進めつつ、経営方針「『未 初予算は、 の新規事業にも着手するこ 経費の節減を図る一方、対 を縮小、休止または廃止 出については、 健全化に向けた取り まれた中においても、 固定資産税等の減収が見込 復がいまだ実感できず 平成二七年度一般会計当 市内経済の景気 八三の事業 組みを 財政 般 歳 Ų 少している。依存財源では 対前年度比では三・二%減 額を○・八%上回ったが 主財源では、

市税が予算現

伴い、扶助費が○・六%、高 等により人件費が増加した 勢調査における調査員報 建設事業費において、大型事 投資的経費については、普通 公債費が八・一%減少した。 利率の地方債の償還が進み、 給付額が縮減されたことに が、臨時福祉給付金事業等の おいて、退職者数の増加や 歳出決算では、経常経費に 玉

三%減、 〇円で、

歳出決算額は二五 対前年度比

五億二五〇七万七〇〇〇円

なり、 なり、 を五・六%上回る五億九五 億五八八四万四〇〇〇円と 八二万八〇〇〇円となった。 歳入決算においては、 対 前年度比一・九%減 歳入歳出差引額は 実質収支額は前年 自 度

の の 、 債が二一・○%減少したも 六・九%増加している。 国庫支出金が八・九%、 六五・七%、地方交付税が 八%、 地方消費税交付金が 県支出金 市

前年度比で二九・二%減少 業が完了したことにより、 している

ができることとなった。 中学校における給食の実施 迎え、念願であった市内全 いては、先ごろ無事竣工を 給食センター建設事業につ 懸案の事業として、 新保健福祉施設建設事業

竣工に向け計画どおり進捗 に向け事業を進めていく。 しており、 については、 年度内での 本年一二月 開設 0

(要旨)

一般会計・特別会計・企業会計決算 平成27年度

の後、七回の補正を行

回る積極型の予算とし、

そ

最終予算規模を二七一億

〇九万七〇〇〇円とした。

歳入歳出決算の概要

一六三億八三九二万一〇〇

般会計の歳入決算額

円と、前年度を七・四%上 会計の予算規模を二五

一四億

○賛成多数で認定 ◎全会一致で認定 歳 審議 歳 区分 会計別 収入率 執行率 (%) 結果 決算額(円) 決算額(円) 94.2 25,525,076,344 26.383.920.567 97.4 一般会計 1,930,524,465 95.7 1,905,510,904 94.4 \bigcirc 下水道事業 17,584,809,386 17,308,578,373 96.5 0 輪 事 12,594,154,241 98.2 0 国民健康保険事業 102.5 12,058,267,652 特 205,118,876 97.6 205,030,730 97.5 \bigcirc 別 土: 取 슾 事 業 34,445,539 99.1 34,396,364 99.0 0 霊 粛 計 7,400,044,469 99.2 7,368,076,736 98.8 0 介護保険事業 0 介護老人保健施設 85,795,139 100.1 85,562,712 99.8 0 後期高齢者医療 1,700,154,245 99.5 1.682,817,114 98.5 67,918,966,927 98.7 66,173,316,929 96.1

		区分	収 入		支 出		審議
会計別		決算額(円)	収入率 (%)	決算額(円)	執行率 (%)	結果	
企	华陸車架	収益勘定	407,547,138	99.8	618,630,677	94.8	
業	病院事業	資本勘定	105,226,000	100.0	207,220,295	100.0	0
会	イン大車番	収益勘定	1,715,695,019	96.2	1,460,590,088	96.2	0
計	水道事業	資本勘定	330,594,366	91.4	1,032,779,693	92.7	

対

からも、 するとともに、 ているものと判断している。 質収支比率などの財政指標 断比率や経常収支比率、 に図られており、 に対する財源の確保も着実 とされる規模の黒字を確保 への取り組みにより、 続してきたさまざまな改 の見直しなど、これまで継 件費を含む全ての 本市の財政は、 健全性は維持でき 将来の負 健全化 事務事業 職 員 適 0 正

本市の財政状況

本会議で 計論

(概要)

例の一部を改正する条例 職の職員の給与に関する条 用弁償条例及び伊東市特別 び期末手当の支給並びに費 伊東市議会議員等の報酬及

反対》日本共産党 市内経済低迷と「議員を

のが自然である。 その状況が改善されていな 尊重し、本市議会では議員 民に認められないと考える ければ、報酬引き上げは市 定数を二名削減した。今も 減らすべき」という世論を

非公開の会議で議事録もな れぞれ異なるのか、また今 き行財政改革によって市 会の決定は尊重すべきだが、 市民代表による報酬等審議 上げを、今回なぜ行うのか。 まで何度か見送られた引き 同様に議員報酬も引き下げ 給与が五%引き下げられた。 民・職員に我慢を強いる」 ことから、市長等の特別職 平成一八年度に「聖域な なぜ引き上げ幅はそ 「市民・職

> 号にも反対する。 酬案が含まれる市議第二〇 改善はいまだないと考える。 正及びこの改正に基づく報 員に我慢を強いる状況」の 以上の理由から本条例改

《反対》杉本一彦議員

十分である。 職の給与は、今のままでも 市民生活の実態を考慮する と、市長を初めとする特別 現在の市内経済の状況や

問 与に関する考え方を市民に 挙を通して、 とと考える。来年の市長選 もって判断していただくこ 委ね、決定するものではな の政治家の給与等は、任期 議論の内容はもう少しオー るが、引き上げ改定に至る 方を示した上で、 みずからが市民に対し考え による市政運営等の評価に 途中において、一部の市民 かし、そもそも、その地域 プンにすべきと考える。 容は非公開ということであ ○人の市民で構成され、 報酬等審議会はたった 任期の節目に、政治家 その結果を踏まえ みずからの給 選挙を

ら反対する。 改定に納得できないことか ないか。したがって、この 改定していくことが筋では

平成二八年度伊東市一般 会計補正予算(第二号)

《反対》杉本一彦議員

部分について反対する。 に至る経過に納得ができな の引き上げ改正に伴う増額 今回の給与、報酬の改定 議員報酬及び特別職給与

給与や報酬が引き上げられ 度の議論で本市の政治家の 等を考える上でも、このタ 納得しないだろう。 ることに、恐らく、市民も イミングで、また、この程 い。また、今後の市政運営

会事務局の人員削減など 踏まえ、議員定数削減や議 おいては、市内経済の厳し かった。これまで、議会に は納得できるものではな げについても、当局の説明 を行うのか全く理解できな 行ってきた。それなのに 断腸の思いで経費削減を い状況や市の財政状況等を 我々の議員報酬の引き上 議員報酬の引き上げ

知」の

スロー

ガンのもと

体となり、将来に夢と希望

議会・行政が三位

がって、改めて、この補 なるのではないか。 い。これらの改革が無駄に 予算にも反対する。

(反対)) 日本共産党 会計歳入歳出決算 平成二七年度伊東市

集や災害復興の中で、 集民間委託。今後、福祉収 まず、第五地区のごみ収

中学校給食の完全実施は評 とっての利点に関しては懸 域化は難しく、特に本市に 況の差がある伊豆半島の広 化。地形や各市町の経済状 ある。二点目は、消防広域 ればできない業務の課題が る例もあり、公務員でなけ 職員の仕事が見直されてい 職員と同様の業務という現 職員体制の問題で、一七七 要ではなかったか。最後に なども含めた合意形成が必 食の回数の統一や災害時の と必要ではなかったか。給 係者による検討の場がもつ を含めてのセンター化は関 価するものの、小学校五校 念が残る。三点目として、 人の臨時職員の八割は正規 休校への対応など、保護者 清掃

した 算への期待も抱きつつ、反 実は大きな課題である。 以上四点から、来年度予

一般

ランドの活用を推進し、地 算において、施設整備基金 減少し、義務的経費がふえ る。しかし、投資的経費が と、職員の努力の結果であ の国県へのトップセールス 減債基金の積み立てを進め、 せ、地方創生による地方ブ と考える。景気回復とあわ 投資への蓄えを進めるべき などへの積み立てを利用し、 ていることから、来年度予 を示していることは、市長 質収支比率等が健全な数値 後年度負担を減少させ、 いた学校給食センターや本 とは大いに評価する。また、 大型事業を推進してきたこ 独自の緊急経済対策等の 実

元雇用、 場産業の活性化や若者の地 積極的に推進し、「未来協 《賛成》正風改革クラブ 多くの市民が待ち望んで 少子化対策などを

期待し、賛成する。 が重要であると考える。本 別会計が一般会計から繰り 収入が減少する中で、六特 れたと考える。 調かつ的確に事業執行がさ 込みが心配される中でも、 れた。この財源を有効活用 いとう」につながることを また来たい 決算が「ずっと住みたい た農林水産業等の取り組み の基幹産業である観光、ま ていることも考慮すると、 齢化社会を要因として市税 実質収支額の数字から、順 化については、税収の落ち 規事業に着手している。 ター建設継続事業などの新 整備事業、学校給食セン し、広域消防指令センター 縮小により経費節減が図ら の持てる伊東を創造してい 人口減少対策、そして本市 入れており、依存度を増し 予算では、八三事業の廃止、 くことを願い、賛成する。 《賛成》公明党 また、本市の財政の健全 予算執行に当たって歳出 一方で、人口減少及び高 健康保養都市

平成28年9月 定例会で審議した議案等

39件の議案等を審議、決定

議案番号	件	名	概要	提出者	審議結果
市報第3号	平成27年度決算に基 比率及び資金不足比 て	率の報告につい	地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の「健全化判断比率」の報告及び病院事業会計、水道事業会計、下水道事業特別会計について「資金不足比率」の報告	市長	(報告、質疑のみ)
市議第13号 	伊東市職員の退職管 	理に関する条例	地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴い、職員の退職管理に関する規定が設けられたことから、再就職者による依頼等の規制について定めるとともに、再就職者の任命権者への届出について定める条例制定	市長	全会一致 で可決
市議第14号	伊東市職員の公益的 に関する条例	法人等への派遣	平成28年10月設立予定の一般社団法人美しい伊豆創造センター に本市職員を派遣するための条例制定	市長	全会一致 で可決
市議第15号	伊東市議会議員等の当の支給並びに費用東市特別職の職員の例の一部を改正する	弁償条例及び伊 給与に関する条	伊東市特別職報酬等審議会において、議員の報酬の額並びに市長、 副市長及び教育長の給料額について引き上げが答申されたこと並 びに9月から特別職としての身分を有する教育長の就任が予定さ れていることに伴う条例改正	市長	賛成多数 で可決
市議第16号	伊東市文化施設整備	基金条例	文化施設の新設等、本市の文化施設の整備に必要な資金を積み立 てるため、伊東市文化施設整備基金を設置し、その基金の管理に ついて定める条例制定	市長	全会一致 で可決
市議第17号	災害時情報伝達シス 負契約の締結につい		契約金額: 1億9,656万円 契約の相手方: NECネッツエスアイ株式会社 静岡支店	市長	全会一致 で可決
市議第18号	平成27年度伊東市病 金の額の減少につい		平成27年度伊東市病院事業会計資本金31億8,571万1,031円のうち、1億5,227万4,875円を減少し、欠損金に振り替えることについて、地方公営企業法の規定により議会の議決を求めるもの	市長	全会一致 で可決
市議第19号	平成27年度伊東市水 分利益剰余金の処分		平成27年度伊東市水道事業会計未処分利益剰余金3億2,814万5,883円のうち、1億5,664万393円を減債積立金へ、5,000万円を建設改良積立金へ、1億2,150万5,490円を資本金へ組み入れることについて、地方公営企業法の規定により議会の議決を求めるもの	市長	全会一致 で可決
市議第20号	平成28年度伊東市一 (第2号)	般会計補正予算	第一に市内の経済状況を勘案して、住宅リフォーム振興事業補助 金や起業支援及び空き店舗対策事業補助金、公共施設の小規模修 繕を中心とした緊急経済雇用対策事業など、第二に消防ポンプ自 動車や防災用資機材などの購入経費、第三に財政調整基金、文化 施設整備基金への積み立てなど、5億3,204万円の追加	市長	賛成多数 で可決
市議第21号	平成28年度伊東市下 計補正予算(第2号		ポンプ場、湯川終末処理場、荻・十足処理区マンホールポンプ、 かわせみ浄化センターの4施設における平成29年度から平成31 年度までの3年間の施設維持管理を委託するに当たり、4件の債 務負担行為を追加	市長	全会一致 で可決
市議第22号	平成28年度伊東市国 特別会計補正予算(1		歳出では保険給付費を増額するとともに、確定した後期高齢者支援金等を減額し、歳入では繰越金の計上、前期高齢者交付金の減額等で2,398万4,000円の減額	市長	全会一致 で可決
市認第4号	平成27年度伊東市一 決算、8特別会計歳 企業会計決算	入歳出決算、2	※2ページをごらんください。	市長	※2ページ をごらん ください
市選第1号	教育長任命の同意に	ついて	髙橋雄幸氏(吉田)新任	市長	全会一致で任命に同意
市選第2号	公平委員会委員選任		佐藤直道氏(富戸)新任		全会一致で選任に同意
市選第3号	教育委員会委員任命		村上惠宏氏(吉田)新任	11122	全会一致で任命に同意
市選第4号	監査委員選任の同意	について	杉山雅男氏(湯川)新任	市長	全会一致で選任に同意

議案番号	件 名	概要	提出者	審議結果
発選第4号	副議長選挙	榎本元彦副議長の逝去に伴う副議長選挙		
		有効投票18票のうち、横沢勇議員18票で、横沢勇議員が当選		
陳情第2号	成年後見制度利用者に対する成年後	陳情者:公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート静岡	支部	全会一致
	見人等の報酬助成及び届け出窓口一	支部長 澤本裕貴氏、静岡県司法書士会 会長 杉山陽一氏、静岡	県司	で採択
	元化を求める陳情	法書士政治連盟 会長 水野裕之氏		
発議第11号	議長辞職願について	宮﨑雅薫議長の議長辞職	議長	全会一致で許可
発選第5号	議長選挙	有効投票15票のうち、稲葉富士憲議員15票で、稲葉富士憲議員	議長	
		が当選		
発議第12号	副議長辞職願について	横沢勇副議長の副議長辞職	議長	全会一致で許可
発選第6号	副議長選挙	有効投票14票のうち、佐山正議員14票で、佐山正議員が当選	議長	
発選第7号	常任委員会委員の所属変更について	※ホームページ 第18期伊東市議会議員名簿の「委員会委員一	議長	全会一致
		覧」をごらんください		で可決
発選第8号	議会運営委員会委員の補欠選任につ	※ホームページ 第18期伊東市議会議員名簿の「委員会委員一	議長	全会一致
	いて	覧」をごらんください		で選任
発議第6号	返済不要の「給付型奨学金」の創設	内閣総理大臣、文部科学大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員	全会一致
	及び無利子奨学金の拡充を求める意		8名	で可決
	見書			
発議第7号	「同一労働同一賃金」の実現を求め	内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員	全会一致
	る意見書		8名	で可決
発議第8号	無年金者対策の推進を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院	議員	全会一致
		議長に提出	8名	で可決
発議第9号	チーム学校推進法の早期制定を求め	内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、衆議院議長及び参議院	議員	全会一致
	る意見書	議長に提出	8名	で可決
発議第10号	有害鳥獣対策の推進を求める意見書	内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣、衆議院	議員	全会一致
		議長及び参議院議長に提出	8名	で可決

第六八代副議長を選出

結果、 挙を行いました。 れたため、新たに副議長選 出され、全会一致で許可さ 最終日に副議長辞職願が提 副議長に就任しましたが、 副議長選挙を行い、投票の 副議長への追悼演説に続き 定例会初日、故榎本元彦 横沢勇議員が当選し

第68代副議長 横沢 勇

を請求することを適当と決 処理の経過及び結果の報告 会では採択すべし、また、 の届け出窓口を一元化する 年後見人等に変更するため 見人宛郵便物の送付先を成 定や市から郵送される被後 託された常任福祉文教委員 こと等を求めるもので、付 致で採択と決定しました 報酬助成に関する要綱制 本会議において全会

決算大綱

陳情第二号について

本陳情は、成年後見人等

全会派及び会派に所属していない議員から6議員が質疑 (決算概要説明及び各会計決算に係る議案について (質疑順に掲載)

◎=会派代表者、会派構成議員は決算大綱質疑時の議席順。質疑した議員は、太字・網かけ

の多様化等で収納率の向上 ることにあわせ、 を図っていく 移住率や出生率を上昇させ 納税方法

か伺う。 描き、 策課題に 基本計画等を着実に実行す ら、今後、総合計画や各種 化で、近い将来、生産年齢 割合が増加する一方で、 本市の将来像をどのように 成二七年度決算を踏まえ ることが必要となるが、平 また、人口減少や少子高齢 資的経費が減少している。 総額に占める義務的経費 八口も減少していくことか 市 税収入が減少し、 自主財源の確保と政 取り組んでいくの 投 0

確保及び政策課題についえ、本市の将来像、財源平成二七年度決算を踏ま て伺う

◎井戸清司議員・土屋 宮﨑雅薫議員 • 佐山 正風改革クラブ 進議員 正議員

極的に取り組んでいきたい 素・効率化を図り、本市の いとう」の実現に向け、積 また来たい 将来像「ずっと住みたい の確保に努めていく。また、 率の向上を図り、自主財源 税方法の多様化などで収納 みが見込まれる中、積極的 住率や出生率を上昇させる ことにあわせ、市税につい 支援の充実などにより、移 な移住定住促進策や子育て 財政運営のさらなる簡 人口減少や市税の落ち込 課税の適正化及び納 健康保養都市

業に対する成果を伺う観光費の増額の要因と各事保健衛生費の増額要因及び

の繰出金が増となっている。 別会計及び病院事業会計へ 地域保健費のがん検診の受 療費助成金の対象者増加や、 診者増加等が要因である。 イト等の整備、 観光費については、ジオ 保健衛生総務費の不妊 後期高齢者医療特

> 要因である。 費補助金の創設などが主な ウン内観光トイレ新設及び 東ゴルフメッカ推進事業

> > け

能となった。 ポットを周遊することが可 発信するとともに、安全 らなるジオパークの魅力を ジオサイト整備により、 視した観光トイレの整備や、 かつ安心して市内観光ス ユニバーサルデザインを重 各事業の成果とし て さ は

『その他の質疑』| 一五項目

■自民・ 絆

◎稲葉富士憲議員・稲葉正仁議員 青木敬博議員 • 中島弘道議員

伺金財 うの政 適調

である地方債現在高は減少 基金は七八倍、減債基金は している。家計に例えるな 方、普通会計において、借金 〇四倍にまで増加し、一 この一 将来に備えて貯金をし、 年間で財政調整

> 状態であり、称賛されても、 なされることはない。 しかし、それが地方公共 一時に借金も返済している

見が出てくる。その使途に いて、見解を伺う。 び減債基金の適正規模につ ことから、財政調整基金及 規模の問題が浮かび上がる を考慮すると、基金の適正 れるだろう。この市民感情 援等、十人十色の提案がさ ついては、減税や子育て支 字額を使うべきだという意 民の生活向上のために黒 体となると、貯金よりも、

あり、 くは積み立てていきたい るわけではないが、しばら から、具体的な目標額があ の起債の償還が重なること 九~三六年度まで大型事業 るために一定規模が必要で るが、不測の事態に対応す 望ましいとされる数字はあ 財政調整基金は、一般的に 減債基金は、平成二

る見込みである。

般的に、標準財政規模の ○%から一五%が望まし 一政調整基金については

> 間の財源の不均衡の調整と と考えている。 模の積み立ては必要である 態に対応するために一定規 甚大化する傾向があること ともに、近年、 いと言われているが、 から、こういった不測の事 自然災害が

の償還が本格化し、新保健 設改良整備事業に係る起債 ある。環境美化センター建 の償還に備えるために積み 改良整備事業における起債 公債費が、現時点と比べ なる平成二九年度から平成 食センター建設事業などの 立てを行っているところで 福祉施設建設事業や学校給 二億円から四億円程度ふえ 二六年度までは、毎年度の 大型事業の起債の償還も重 減債基金については、 環境美化センター更新

画的に積み立てていきたい ないが、しばらくは、収支 額を設定しているわけでは 状況を見きわめながら、 そのため、具体的な目標 計

『その他の質疑』二七項目

民進クラブ

ついて、その成果を伺うプレミアム商品券事業に 浅田良弘議員 四宮和彦議員〇鈴木克政議員

成果が得られたか伺う。 られているが、どのような ては、国に報告が義務づけ た、この事業の検証につい から疑問視されており、 策としての効果は、 商品券事業の商工業振興 かねて ま

地域経済の活性化に好影響 があったと認識している 地域の消費拡大だけでなく、

地元小規模店と大型店でお ど、地域の消費拡大に大き おむね同率となる等、 いる。さらに、 な成果があったと認識して 超える消費があったことな 費誘発効果として一億円を 消費喚起効果と、 されたことによる直接的な な地域店舗への誘客効果や 四億円余りが市内で消費 換金割合が 新たな消

響があったと考えている。 地域経済の活性化にも好影 から、 参加店舗アンケートの結果 商店街を初めとした

を図るべきと考えるか伺きとのような機能充実を後どのような機能充実をでいまか、またでは、地域医療の基幹をできる。

割分担と連携について協議 の準備中である。この承認 を進め、 医師会との病診連携等、役 の向上が図られたことから、 病院建設により、医療機能 連携を推進してきたが、 基幹施設としての役割を果 圏域も含めた伊豆東海岸の を受けることで、 の承認に向け、現在、申請 「域の医療の機能分化と 地域医療支援病院 賀茂医療 新

『その他の質疑』 七項目

一公明 党

もに、

全国四三競輪場全て

が黒字となるなど、大きな

○長沢 正議員 鳥居康子議員 篠原峰子議員

伺う 果と今後の展望について 競輪事業に関し、その^は て成

伺う。成果と今後の展望について 平成二七年度の競輪事業の へ の 度に一五年ぶりに一般会計 赤字を解消し、平成二六年 七億五四〇〇万円程の累積 佃 繰り出しがあったが、 市 長 就任時にあった。

市長

強化を図っていく 続できるよう、経営基盤 一般会計への繰り出しが継 の

等が実現し、開催経費等のの削減や賞金基準の同一化採算レースであるFⅡ開催 万円の繰り出しを行うとと 度には一般会計へ七〇〇〇 削減にも努め、 制度改革を進めた結果、不 会長として、 全国競輪施行者協議会副 積極的に競輪 平成二七年

> る。今後も、一般会計への 成果があったと認識してい 図っていく。 さらなる経営基盤の強化を 繰り出しが継続できるよう

るか伺う 地域防災力は向上してご

るよう努めていただいてお 災害用資機材等の交付を行 等と連携する中で地域防災 には顔の見える関係を築け 神」を確認し、自主防災会 各種訓練を通じ「共助の精 議会を開催している。また、 主防災会等の要望に基づく であるため、 働して取り組むことが重要 ためには、行政と市民が協 体となり津波対策地区協 地 今後も地域や教育機関 地域では市民と行政が 上に努めていきたい。 域の防災力向上を図る 行政からは自

『その他の質疑』 八項目

日 1本共産

なわち、点と点を結ぶ動線 に出ていくための政策、

す

佐藤龍彦議員◎重岡秀子議員

うに分析しているか伺うと入湯税の状況をどのよ決算における個人市民税者えるが、平成二七年度 や市民生活を反映すると市税の状況は、市内経済

ている。 げるまでには至っていない 加が市内経済全体を押し上 傾向にあるが、来遊客の増 旅館の利用客を中心とする で、二年連続の増加となり ほぼ横ばいであると認識し 率で、○・九%の減であり、 円の減となっているが、比 比で、二四三六万三〇二五 つつある状況となっている。 人湯客数が、 二九〇万九五八〇円の増 このように入湯税は増加 入湯税は、 順調に回復し 対前年度比

中だけにとどまらず、 今後は、来遊客が旅館の まち

づくりを行政が実施するこ ながると考えている。 いては市内の経済対策につ とで、商店街の活性化、ひ

杉本一彦議員 『その他の質疑』 七項目

(会派に所属してい ない)

が 成果及び今後の展望を伺 目指し行ってきた対策と 保育園の待機児童ゼロを

個人市民税は、

対前年度

があったと考えている。 前年度で四九八人の増員と 年度の年間通園人数は、 児の増員を図り、 度の保育園入園申し込みの 機が予想されるため、来年 なったことで、一定の成果 須美保育園において、 今後は、○~二歳児の待 平成二七年度に民間保育 園が開所し、 また、 平成二七 ○歳

進について検討していく。 『その他の質疑』

状況を注視し、

必要に応じ

地域型保育事業等の推

9議員が登壇/市政全般について質問 (登壇順に掲載)

ついて、具体的な検討がふるさと納税の返礼品に あったか伺う

民進クラブ 四宮和彦議員

『その他の質問』

六

項

目

けて、 伺う。 け入れ実績を出すことは難 月をめどに事業着手してい 品 が市長からあったが、 前向きに検討する旨の答弁 て、 関係から、 なければ、 にある。 に具体的 いと思われる。 の用意をするならば、 ふるさと納 返礼品の送付について 寄 三月定例会にお な検討があったか 附が集中する傾 今年中に寄附受 秋から年 税は税 現在まで 末 制 返礼 کے 九 向 か 0

今後の取り組みについて五歳児健診の導入に係る

伺う

平成 27 年度 ふるさと納税 主な返礼品と寄附金

宮崎県 都城市

宮崎牛など/42億3123万円

2 静岡県 焼津市 マグロなど/38 億 2548 万円

3 山形県 天童市 フルーツなど/32 億 2788 万円

4 鹿児島県 大崎町 マンゴーなど/27 億 1964 万円

備前焼など/27億1568万円

5 岡山県 備前市 ※ふるさとチョイス調べ 1万円以下切り捨て

決定し、 附金から返礼品を送付した 体的な事業内容を年内には と考えてい 発信につながるような具 が成にあ 平成二九年度の寄 わ る。 せ、 本市 0 魅 み及び保護者への支援体制 ることから、 児健診の導入は急務と感じ 増加傾向にあるため、 達等で支援を要する子供 について伺う。

今後の取り

組

実施に向けて検討を進める

待機児童問題の

現 状に

日本共産党 重岡秀子議員

以下三点伺う。

づき、 や就学の準備へとつながる ては、 討を進めていく。 ことから、 五歳児健診の実施につ 子供への適切な対応 発達障害に早期に気 実施に向けて検 41

待機児童の現状を伺う。

○歳児から二歳児の定 入所の選考基準を伺う。

ともに、 護者からの相談に応じると 行っており、 業の健診事後教室を開催し について指導による支援を 発達相談や適切なかかわり くら園」 また、 現在、 その子供に対する で不安を抱える保 今後は、 母子保健 さ

発達障害の早期発見・早期 保健 計画に、 公明党 篠原峰子議員

文援の充実を図っていく。

『その他の質問』

二項目

第三次伊東

市

来年度の寄附金から返礼

を送付したいと考えている

市長

第三次伊東市保健計画

今後は、

平成二九年度の予

れており、

また、心身の

所判定をしている。

重に検討を続けてい

る。

を検討する必要性が記述さ 対応のため五歳児健診導入

返礼品については、

現

在

伊東市食育推進計画 ~ めいしい! たのしい! 伊東の食で元気をつなぐまちづくり~



第3次伊東市保健計画

市長

かがか。

て検討する 状況により各種事業につい ては、保育園入園申し込み 待機児童解消の方策につい

当たり、 準については、 する事由や必要量を点数化 三人であり、 して保育指数を算定し、 援法に基づく保育を必要と 今年度待機児童数は、 子ども・子育て支 入所の選考基 申し込みに

ついて伺う 保育園の待機児童対 策に

五歳

が

8

方策が必要と考えるが 員をふやすなどの具体的

種事業を検討する。 消のための方策について各 の状況により、 また、 来年度の申し込み 待機児童解

『その他の質問』 三項目



待機児童問題

地域共同体)構想の取り日本版CCRC(高齢者 組みについて伺う

民進クラブ

鈴木克政議員

CCRC を推進する市町

ける日本版CCRC構想の

過 目

移住促進事業にお

先進地を視察してきた。平

び共同

施設、

さらには交流

成三一年度までに二〇〇戸、

〇〇人の移住者用住宅及

岩手県雫石町…100年の森と共生プラン 新潟県南魚沼市…衛生専門学校との連携 石川県輪島市…新交通システムでつなぐ漆の里 山梨県都留市…シルバー産業の構築の推進 長野県佐久市…交流と協働で織りなす夢をかなえるまち 鳥取県南部町…分散居住型の町づくりを目指す 福岡県北九州市…如(知)0機点类における助加性機業業

門部署を設け積極的に取り 組む必要性を感じた。 とのことであり、 設、 保育園等を建設予定 本市も専

市の考えを伺う。 構想の取り組みについて本 そこで、 日本版CCRC

リットを見きわめたい 構想推進のメリット・デメ

市

推進のメリット・デメリッ の検討状況を注視し、 躍のまちづくり検討会議」 から、県の「伊豆半島生涯活 確 や介護の費用増加及び人材 トを見きわめたい よる高齢化率の増加、 保の面で懸念もあること 齢者のさらなる流 構想 医療

『その他の質問』 五項目

備する考えがないか伺う。 ことのできる納骨堂等を整

望を参考に検討していく 納骨堂等の建設は、 市民要

画 画 三九区画を募集し、三三区 者を決定。 の使用者を決定した。 を募集、 平成二七年度は、 霊園建設第二期計 納骨堂等の建設は 平成二八年度は 一九区画の使用 四六区

あることから、

本市の運

動 が

7

備への市民要望等の課題 や全天候型スポーツ施設整

市営海浜プー

ルの老朽

化

ためのプロジェクトチー 総合的に話し合いを進める 施設の建設計画等につい

備について伺う 市営天城霊園の今後の整 市民要望を参考に、 市民満足度調査の結果等の

含まれていない

が、

今後、

べきと考えるが、

いかがか。

を設置するなど検討に入る



公明党 鳥居康子議員

『その他の質問』

五項

自

運動施設整備については

されてきた。第十次基本計 これまでも要望や提案がな

変更申請にあわせ、

検討

ら検討を進めていきたい 関係団体などと協議しなが

年四月以降の建設計画の

平成三

から、ご遺骨のみを預ける の多様化により、近年、 宗教や墓地に対する考え方 要望は変化していること また、家族構成の変化、 一等の要望に応えていると 営天城霊園は多くの 墓地使用者の応 市 市

募状況を伺う。 考えるが、

運動施設建設計画の検討 について伺う

日本共産党 佐藤龍彦議員

天城霊園案内図

検討を進めていきたい。 続き、関係団体等と協議 究が必要となるため、 など多方面からの調査、 源を初め、 ている。しかし、 必要なことであると認識し ていることから、 備に努めることが明記され 画においても、 しやすいスポーツ環境の整 『その他の質問』 用地や施設概要 誰もが利用 多額の財 重要かつ 二項目 引き



市営海浜プール

研

から門野中学校の通学路通学路の安全対策の観点 化について伺う における街路灯のLED



民進クラブ 浅田良弘議員

(泉橋方面)門野中通学路

都府などで登下校中の児童

成二

几

年 应

月以降、

京

列に車が突っ込む事故が

置状況及び今後の整備計無料公衆無線LANの設 画について伺う



通学路における街路灯の 対策の面から門野中学校の

ED化について伺う。

LED化に向けて順次進

め

が実施されているが、 平成二六年度から安全点検

防犯

重

ね

小学校については、

関係機関と連携し、

協議を

化された。

本市においても、

緊急点検が各自治体で事業 通学路の安全対策としての 相次いで発生したことから、

山口嘉昭議員 (会派に所属していない)

備を強化していくと考えら ないことがある。 無線LANが整備されて ることの一つに、 訪日外国 人が旅行中に 本市も整 無料公衆 木

ち、

泉橋方面及び城平住宅

.野中学校の通学路のう

れるが、 衆無線LANの設置状況及 び今後の整備計画を伺う。 及び公共施設等への無料公 市 内観光スポット

進めていく。

『その他の質問』

五項

目

は、

LED化に向けて順次

が管理を行っており、

今後

灯については、

教育委員会

れている約一〇〇基の街 方面に至る通学路に設置さ

観光スポットなどを計画的 に整備する

飲料水自動販売機等を活 極的な支援を検討していく。 間施設の整備についても積 的に整備するとともに、 公衆無線LAN機能つきの 国の支援策を注視しつつ、 支援を行ってきた。今後は や図書館等に整備した。 を初め、 は、 『その他の質問』 公衆無線LANについ 観光スポット等を計画 伊東駅前や東海館周辺 民間施設に対しても 市役所市民ロビ 二項目 さ 民 7



市役所市民ロビーで Wi-Fi使用できます

の現況を伺う 市有公共建築物の耐震化

杉本一彦議員 (会派に所属していない)

耐震化の現況を伺う。 宅を含む市有公共建築物 小 児童福祉施設、 ・中学校の校舎や体育 市営住

る。 断建築物も検討していく する建築物または耐震未診 館は耐震基準を満たしてい 小・中学校の校舎及び体育 その他の耐震補強を要

は耐震補強を検討し、 設については、 満たしている。 により国の耐震基準を全て 育館 途廃止を含め検討していく。 美保育園の耐震補強につい 未診断の住宅については用 て検討していく。 今年度、 小・中学校の校舎及び体 は、 耐震補強工事施工 南幼稚園富士見 広野、 児童福祉施 猪山住宅 耐震

市有公共建築物(市民体育センター)

奇附行為やあい

挙法で禁止されています。 いたします。 の行為を行うことは公職選 ご理解とご協力をお願 市内において、 議員が次

- 時候のあいさつ状を出す ものを除き、年賀状等 でれのための自筆による ے
- 政党、 有料の すこと や親族に対するものを除政党、その他の政治団体 寄附をすること あ いさつ広告を出

分園の耐震補強設計及び 建築物等も検討していく。 その他の耐震補強を要する 工事を実施する予定であり、 民体育センターの耐震補 『その他の質問』 六項目

きない

常任委員会だよ り ◆詳細は、一一月下旬発行予定の九月定例会会議録の委員会審査報告をごらんください 常任委員会審 查

0

中

か らく

総務委員

うになったことから、 る条例の制定経緯を伺う。 際の現役職員への働きかけ 市職 地方公務員法の改正によ 補正予算に係る消防団の 旨に鑑み制定する。 体が条例で定められるよ 規制等に関し、 が営利企業に再就職した 部課長相当職にあった 員の退職管理に関す 地方公共 その

0

次年度以降に三台配備する 消防車両整備について伺う。 普通自動車免許で運転で 両を本補正予算で二台、 五つの分団に対し、 車両が配備されてい 消防ポンプ自動車(2t)

光建

を伺う。 業した業種及び事業継続率 策事業補助金につい 起業支援及び空き店舗対 て、 起

ように商工会議所と連携 ら起業した四二 することが補助要件とな よる新し ンタサイクル、 て支援していく。 一件は廃業している。 まちなかや駅前周 いるが、平成二六年度か った。二年間は事業継続 簡易宿泊所などの若者 長く事業が継続できる い業種の起業が 件のうち、 外国人向け 辺 で

7

福祉

及び展望を伺う。 設建設に関する寄附の 条例制定に当たり、 伊東市文化施設整備基金 文化施 現

感じている。 今後検証していく必要性 おいて、現状での課題を伺う。 ている学校給食センターに ている。 な計 一面から検討を進めていく 寄附申し出の声 かの判断方法について おける、 台風接近時や警報発令時 本年度二学期から稼働し 画はまだないが、 建設につい 給食の実施か中 は て具体 上 が 多





学校給食センター調理室

閉会中の議会活動

※平成28年6月定例会閉会後 平成28年9月定例会開会まで

平成28年

7月 6日 議会報編集委員会 12・13日 諏訪・伊東姉妹都市

> 議会議員交歓研修会 19日 常任総務委員会協議会

議会報編集委員会

28日 常任観光建設委員会協議会

8月 25日 議会運営委員会



8月1日学校給食センター落成式

七 諏 戸 訪 伊 東議姉 三日 院 会 議 都 <u>の</u>

職員交歓研修会 市

妹都市交歓研修会を行 本市に迎え、 諏訪市 一議会議 第二五回姉 員を

魚王国 の説明: による 成立しました。 ら活発な質疑があり、 本市の鮮魚店間 二日は、 諏訪市のスー 後、 の取組について」 伊 諏訪市議員か 豆 • の 11 市 取引が パーと とう地 産業課 後

大室山等を視察しました。 翌一三日、諏訪市議会は

質疑する諏訪市議員

訪問し、交歓研修会を行っています。以来、四年に一度ずつお互いの市を四三年二月五日の第一回交歓研修会諏訪市議会と伊東市議会とは、昭和

【編集】議会報編集委員会 【発行】伊東市議会

【議長】稲葉富士憲

【伊東市議会事務局】伊東市大原二丁目1番1号

田

九月二七日

代表者変更

委

員長

委員長

正風改革クラブ 自民・絆

自民・絆

中島弘道議員 稲葉富士憲議員

副

議

長

交代

に ょ

る新

委員会構成

副議長に佐山正議員 に稲葉富士憲議員 う選挙の結果、議長 副議長から辞職願が を選出しました。 提出されたことに伴 本会議において、 月二七日の最終

員

委員

稲葉富士憲

員



第73代議長

※稲葉富士憲議長は、総務委員会に所属していますが、申し合わせにより、委員活動を辞退しています。 (無)会派に所属していない (無)会派に所属していない (絆)自民・絆 (公)公明党 (民)民進クラブ (井)日本共産党

正

|副議長の選挙

榎本元彦副議長が七月

行いました。 重岡秀子議員が追悼演説を ささげ、全議員を代表して 五日に急逝されました。 九月定例会冒頭、黙禱を

ができますが、

議員報酬と

ることにより交付すること

政務活動費は条例で定め

議会パニ知識

政務活動費はありません。 は別のものです。本市では、

編

後

記

冥福をお祈り申し上げます ご功績をしのび、 議員のお人柄と多大なる 心からご



故 榎本元彦副議長

以降、

さまざまな協議を経

アルし、

カラーにしました。

今号から紙面をリニュ

念願のカラー化が決定して

榎本元彦副議長 急逝

一彦(無) 杉本 委員 四宮和彦(民)

山口嘉昭(無)

常任観光建設委員

常任福祉文教委員会

|八月||九日||会派の異動

副

委員

長

副委員

長

会派の異動

青木敬博議員

常任総務委員会

正(公)



副委員 横沢 勇(無)

重岡秀子(共)





井戸清司(正)

第69代副議長

正

佐山

員







中島弘道(絆)



委員

委員





鈴木克政(民)

委員

四宮和彦(民)

議会運営委員

稲葉正仁(絆)







浅田良弘(民)



頭、

黙禱をささげ、

ご冥

福をお祈りしました。

新メンバーとなりましたの

また、議会報編集委員

で、今後もよろしくお願

日に逝去され、九月定例会

寄せください。

りますので、ご感想などお

信していきたいと思ってお 情報をさらに読みやすく発 した。これからも、

議会の

て、ようやく発行となりま

内山義夫教育長が七月四







内

山義夫教育長

逝去

進(正)



委員



篠原峰子(公)









12月定例会の予定

12月1日(木) 開

※日程等は、11月下旬の 議会運営委員会にて 正式に決定します。

委員長 委

議会報編集委員会

します。

市議会に関するご意見 副委員長 員 佐 篠 井 青 原 木 藤 龍 和 子博司

TEL/0557-32-1981 ■FAX/0557-38-6916

こ質問は議会事務局

E-mail/gikai@city.ito.shizuoka.jp ■ホームページ/http://www.city.ito.shizuoka.jp